2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社大運	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9363	URL	http://www.daiunex.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	岩崎　雅信
問合せ先責任者	（役職名） 管理部部長	（氏名）	蜂須賀　伸子　(TEL) 06-6120-2001
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,071	13.3	212	9.2	282	11.2	194	10.7
2026年３月期中間期	4,474	3.7	194	29.1	254	26.7	175	△6.2

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	40.11	―
2026年３月期中間期	36.24	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	7,173	4,617	64.4
2026年３月期	6,148	4,077	66.3

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　4,617百万円　　2026年３月期　　4,077百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	15.00	15.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	2.0	350	0.8	450	2.0	340	1.6	70.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．中間財務諸表及び主な注記（４）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	6,228,039株	2026年３月期	6,228,039株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,378,341株	2026年３月期	1,378,185株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,849,777株	2026年３月期中間期	4,850,088株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）キャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな回復が続きました。しかし物価高騰や自然災害の影響、日銀の利上げによる金利負担への警戒等マイナス要因があり、今後注視していく必要があります。一方で世界経済はウクライナ情勢の長期化、円安による原材料やエネルギー価格の高騰、米国の通商政策等による日本経済への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましては新規顧客の獲得と既存顧客とのお取引深耕に取り組み、国際一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開してまいりました。円安の影響下にありながら輸入貨物の堅調な受注もあり、営業収入は増収、営業利益についても増益となりました。

この結果、当中間会計期間における営業収入は5,071,769千円で、前年同中間期と比べ597,115千円（13.3％）の増収となりました。営業利益は212,963千円で、前年同中間期と比べ18,000千円（9.2％）の増益、経常利益は282,884千円で、前年同中間期と比べ28,569千円（11.2％）の増益となりました。また、中間純利益は194,546千円となり、前年同中間期と比べ18,758千円（10.7％）の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、当社主要取引先の受注が堅調に推移したため、前年同中間期比において増収増益となりました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は4,997,691千円で、前年同中間期と比べ615,668千円（14.0％）の増収となり、全セグメントの98.5％を占めております。

セグメント利益（営業利益）は378,569千円で、前年同中間期と比べ17,504千円（4.8％）の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は71,982千円で、前年同中間期と比べ18,341千円（20.3％）の減収となり、全セグメントの1.4％を占めております。

セグメント利益（営業利益）は3,436千円で、前年同中間期と比べ330千円（10.7％）の増益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同中間期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入は2,094千円で、前年同中間期と比べ211千円（9.2％）の減収となり、全セグメントの0.1％を占めております。セグメント利益（営業利益）は2,079千円で、前年同中間期と比べ211千円（9.2％）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より384,500千円増加して3,334,594千円となりました。これは立替金の増加256,150千円、営業未収入金の増加96,473千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より640,547千円増加して3,839,348千円となりました。これは投資有価証券の増加620,043千円、車両運搬具の増加51,951千円、のれんの減少13,965千円、ソフトウェアの減少11,169千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より237,318千円増加して1,511,828千円となりました。これは営業未払金の増加196,099千円、未払法人税等の増加48,527千円、１年内返済予定の長期借入金の減少20,804千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より247,678千円増加して1,044,135千円となりました。これはその他固定負債の増加191,904千円、長期借入金の増加46,170千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より540,051千円増加して4,617,978千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加114,524千円、その他有価証券評価差額金の増加418,332千円等によるものであります。

（３）キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比＋4,464千円であり、1,502,887千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、117,927千円（前年同中間期は180,690千円）でありました。これは、税引前中間純利益計上285,793千円、仕入債務の増減額196,099千円、立替金の増減額△256,150千円、売上債権の増減額△96,473千円等が主な要因となっております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△64,765千円（前年同中間期は△35,047千円）でありました。これは、有形固定資産の取得による支出△56,750千円、投資有価証券の取得による支出△9,606千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△48,697千円（前年同中間期は△160,589千円）でありました。これは、長期借入れによる収入170,000千円、長期借入金の返済による支出△144,634千円、配当金の支払額による支出△71,462千円等によるものです。

（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期業績予想につきましては、不確定要因が大きく、2026年５月14日の「2026年３月期決算短信」で公表いたしました業績予想は、現時点において変更しておりません。今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関しての修正が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,498,422	1,502,887
営業未収入金	776,826	873,299
立替金	639,911	896,062
その他	42,705	63,376
貸倒引当金	△7,773	△1,032
流動資産合計	2,950,093	3,334,594
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	64,577	61,456
構築物（純額）	2,667	2,467
機械及び装置（純額）	20,112	17,582
車両運搬具（純額）	25,046	76,997
工具、器具及び備品（純額）	7,499	6,349
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	12,370	12,004
有形固定資産合計	708,457	753,042
無形固定資産		
ソフトウエア	78,833	67,663
のれん	27,931	13,965
その他	4,188	4,188
無形固定資産合計	110,952	85,816
投資その他の資産		
投資有価証券	2,285,102	2,905,146
差入保証金	85,886	85,622
その他	9,725	11,043
貸倒引当金	△1,323	△1,323
投資その他の資産合計	2,379,391	3,000,489
固定資産合計	3,198,800	3,839,348
資産合計	6,148,894	7,173,942

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	803,537	999,636
1年内返済予定の長期借入金	237,786	216,982
未払金	37,690	59,332
未払法人税等	50,292	98,819
賞与引当金	50,500	51,846
その他	94,703	85,211
流動負債合計	1,274,510	1,511,828
固定負債		
長期借入金	282,268	328,438
退職給付引当金	209,528	219,132
その他	304,661	496,565
固定負債合計	796,457	1,044,135
負債合計	2,070,967	2,555,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	41,483	48,758
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,499,174	1,613,698
利益剰余金合計	1,540,657	1,662,456
自己株式	△612,681	△612,762
株主資本合計	3,374,848	3,496,566
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	703,078	1,121,411
評価・換算差額等合計	703,078	1,121,411
純資産合計	4,077,926	4,617,978
負債純資産合計	6,148,894	7,173,942

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業収入	4,474,653	5,071,769
営業原価	4,094,226	4,673,718
営業総利益	380,426	398,050
販売費及び一般管理費	185,464	185,087
営業利益	194,962	212,963
営業外収益		
受取利息	580	1,580
受取配当金	39,220	34,080
為替差益	－	7,781
受取家賃	13,380	11,560
雑収入	15,921	25,819
営業外収益合計	69,103	80,822
営業外費用		
支払利息	3,296	4,176
為替差損	603	－
賃貸費用	5,750	6,723
雑損失	100	－
営業外費用合計	9,749	10,900
経常利益	254,315	282,884
特別利益		
固定資産売却益	3,039	2,909
特別利益合計	3,039	2,909
税引前中間純利益	257,354	285,793
法人税、住民税及び事業税	81,566	91,247
法人税等合計	81,566	91,247
中間純利益	175,788	194,546

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	257,354	285,793
減価償却費	24,275	35,324
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,474	△6,741
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,080	1,346
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6,299	9,604
受取利息及び受取配当金	△39,801	△35,661
支払利息	3,296	4,176
為替差損益（△は益）	△4	△4
有形固定資産売却損益（△は益）	△3,039	△2,909
売上債権の増減額（△は増加）	△37,430	△96,473
仕入債務の増減額（△は減少）	66,830	196,099
立替金の増減額（△は増加）	△78,797	△256,150
その他の資産の増減額（△は増加）	△14,593	△20,447
その他の負債の増減額（△は減少）	17,777	2,068
小計	216,738	129,990
利息及び配当金の受取額	39,801	35,661
利息の支払額	△3,296	△4,176
法人税等の支払額	△72,552	△43,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	180,690	117,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,224	△56,750
有形固定資産の売却による収入	3,039	2,909
無形固定資産の取得による支出	△8,000	－
投資有価証券の取得による支出	△11,987	△9,606
その他の支出	△11,874	△1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,047	△64,765
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	170,000
長期借入金の返済による支出	△145,417	△144,634
自己株式の取得による支出	△105	△80
配当金の支払額	△62,489	△71,462
リース債務の返済による支出	△2,577	△2,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,589	△48,697
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,945	4,464
現金及び現金同等物の期首残高	1,317,148	1,498,422
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,302,202	1,502,887

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間損益計算書計上額（注）３
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,382,023	90,324	4,472,347	2,306	4,474,653	－	4,474,653
外部顧客への売上高	4,382,023	90,324	4,472,347	2,306	4,474,653	－	4,474,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	682,069	260,224	942,294	－	942,294	△942,294	－
計	5,064,092	350,548	5,414,641	2,306	5,416,947	△942,294	4,474,653
セグメント利益	361,064	3,105	364,170	2,291	366,461	△171,499	194,962

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額の内容は、△171,499千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間損益計算書計上額（注）３
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,997,691	71,982	5,069,674	2,094	5,071,769	－	5,071,769
外部顧客への売上高	4,997,691	71,982	5,069,674	2,094	5,071,769	－	5,071,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	588,964	379,569	968,534	－	968,534	△968,534	－
計	5,586,656	451,552	6,038,208	2,094	6,040,303	△968,534	5,071,769
セグメント利益	378,569	3,436	382,005	2,079	384,085	△171,122	212,963

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額の内容は、△171,122千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。